

2019年4月19日（金）

普段の様子

ある日のお昼休み

曇天の空を吹き飛ばすかのごとく、ボールが高く蹴り上げられて休み時間が始まりました。



森の中では、ジャングルジム、登り棒、ブランコなどの遊具に人が集まるほか、色々なグループで鬼ごっこが行われています。走り回って疲れたら、お友だちと木陰で休憩する姿がありました。これからの季節、木陰で味わう風は最上の心地良さです。



先生が現れると大歓声と同時に子どもが集まり、満開の笑顔で一带が明るく輝きます。

桜の花が風に舞い、子ども達の心に温かさを残した後、森の地面を桃色に色付けています。再度、上を見上げれば、緑の葉に隠れて梅の実が豊かに実り始めていることに気がきます。



自然豊かな鎌倉の地にある学校の森には、多くの生き物が生きています。遊びに夢中になっていても、命の存在を感じ、目で追ってしまいます。



ダンゴムシはいつの時代でも子どもの人気者です。



ザリガニの真っ赤な姿を探して、じっと水面を見つめていました。



ケーブルの上を器用に走り抜けていく台湾リスです。



カルガモが子どもの喧騒から逃れるように池の水辺で寛いでいました。